

小豆島の創生を考えるシンポジウム

瀬戸内海・小豆島の地域資源

— 海・塩・ひと —

から未来の扉をひらく

今、「地方創生」が国をあげてのテーマになっています。

小豆島の人口減少は“島国・日本”の30年先を進んでいて、これからの日本全体のすがたを凝縮しています。

“島”であるという特性を活かし、持続可能な発展を自律的に行うカタチを創造できるならば、小豆島は、“島国・日本”の未来をえがく地方創生のモデルになるでしょう。

小豆島には、そのために必要な潜在力や可能性が十分に備わっています。

シンポジウムでは、小豆島の潜在的な地域資源といえる「海・塩・ひと」に焦点をあて、島の外からの視点により、小豆島の未来を語り合います。

◆ 講演



「海環境と生物資源について」
■佐藤周之（高知大学教育研究部農学部門准教授）



「魚類の展示と経済効果に関する研究—地域活性への利用方法—」
■梶明広（（公財）しまね海洋館・島根大学大学院）



「地域活性専門家としての活動と地域人材育成の重要性」
■佐藤利夫
（島根大学 副学長（地域連携・貢献担当）、生物資源科学部 教授）

◆ フリーディスカッション

- テーマ 「海・塩・ひとから未来を考える」
- コーディネーター 佐藤周之
- パネリスト 梶明広 / 佐藤利夫 / 塩田幸雄（小豆島町長）

どなたでもご参加いただけます
事前の申し込みは必要ありません。

主催 小豆島町
共催 日本海水学会環境・生物資源研究会

◆ 日時

2015年
9月11日（金）

13:30～16:30

◆ 場所 サン・オリーブ 多目的ホール

参加
無料

お問い合わせ:小豆島町役場企画財政課
〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100番地4
TEL: 0879-75-1800
E-mail: olive-kikaku@town.shodoshima.lg.jp